

本院では、下記の研究を実施しておりますのでお知らせいたします。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、情報を研究目的に利用されることを希望されない患者さんもしくは患者さんの代理人の方は、下記の連絡先までお申し出ください。

1. 研究課題名	青森県における急性脳主幹動脈閉塞症に対するrt-PA静注療法および脳血管内治療の実態調査			
2. 対象患者	当院脳神経外科にて静注血栓溶解療法静注血栓溶解療法(IV rt-PA)または脳血管内治療による再開通治療を受けた急性主幹動脈閉塞症の全ての患者			
3. 対象となる期間	2017年4月1日 ~ 2024年12月21日			
4. 実施診療科等	脳神経外科			
5. 研究責任者	氏名	嶋村 則人	所属	脳神経外科
6. 共同研究機関 (共同研究機関研究責任者)	弘前大学大学院医学研究科脳神経外科学講座、青森県立中央病院 放射線科、青森市民病院脳神経外科、つがる総合病院脳神経外科、八戸赤十字病院脳神経外科、弘前脳卒中・リハビリテーションセンター内科、十和田市立中央病院脳神経外科、むつ総合病院脳神経外科、青森新都市病院脳神経外科			
7. 研究の意義	健康寿命の延伸等を図るための脳卒中、心臓病その他の循環器病にかかる対策に関する基本法(循環器病対策基本法)を遂行すべく、現在、立案が進行している循環器病対策基本計画にも対応するため、本ネットワークを活用した青森県全体に関する悉皆性の高い調査研究が必要となりました。			
8. 研究の目的	青森県全体にわたる急性期脳主幹動脈閉塞治療、特にrt-PA静注療法および脳血管内治療の経時的な変化、現状を把握し問題点を究明することで、急性期脳梗塞の悉皆性の高い疫学や転帰改善の方策が明らかとなります。			
9. 研究の方法 (使用・提供する資料等および外部に提供する 場合の方法等)	診療録を利用し、当院脳神経外科で入院加療を行った患者様の年齢、性別、症状、放射線学的所見、治療法、合併症や転帰を調査します。この研究で使用する情報は、誰のデータか分からなくした(匿名化といいます)データです。なお、この研究に必要な臨床情報は、すべて診療録より取り出しますので、改めて患者さんに行っていただくことはありません。			
10. 個人情報の保護	匿名化した情報のみが登録されるため、個人情報は保護されます。			
11. 利益相反に関する状況	本研究に伴い、利益相反が生じる事はございません			
12. 連絡先	弘前総合医療センター 脳神経外科			
	電話	0172-32-4311	FAX	0172-33-8614